

国際教育の国際調査シンポジウム（5/31(金)）のご案内

— 答えの見えない世界を生き抜く子どもたちへ — 学校・教育行政・社会にできること —

国際協力機構（JICA）と文部科学省 国立教育政策研究所は、2023年からの共同事業「グローバル化時代の国際教育の国際比較調査フェーズⅡ」の知見を共有すべくシンポジウムを開催します。

気候変動や資源枯渇、感染症、紛争など国境を超えた課題が広がる中、児童生徒にはどのような資質能力が求められ、それに学校・教育行政・社会はどのように貢献できるのか。そのヒントになる情報・考察が、英国・カナダ・オーストラリア・韓国での教育省や教育行政を担う機関、学校の取り組みや、JICAのような国際協力機関・団体が支援・連携活動などの調査を通じて得られました。シンポジウムでは2部構成で議論を深めていきます。ぜひ取材をご検討ください。

グローバルシチズンシップ・国際教育の国際調査シンポジウム

答えの見えない世界を生き抜く子どもたちへ—学校・教育行政・社会にできること—

日時 2024年5月31日（金）13:30-17:00

場所 JICA 市ヶ谷 国際会議場 東京都新宿区市谷本村町 10-5（JICA 市ヶ谷ビル内）

主催 JICA、国立教育政策研究所

プログラム 第一部 四カ国調査で得たナレッジの共有／総合考察

第二部 「これから」を考える（埼玉県の事例発表、パネルディスカッション）

【取材申し込み・問い合わせ窓口】

シンポジウム事務局：株式会社 国際開発センター 田中、津久井

Mail : tanaka.y@idcj.or.jp TEL (津久井) : 090-9844-08** (下二桁は 五 六)

取材申込方法 以下の内容を事務局までご連絡ください。（取材申込み締切：5月29日）

(1) 会社名、(2) 氏名・職名、(3) メールアドレス、(4) 電話番号、(5) 関心事項

個別取材を希望する場合は必ずその旨記載ください。シンポジウムの様子は撮影いただけますが、登壇者以外の方をメインとしたお写真については、被写体の方に撮影許可のご確認をお願いします。

登壇者・パネリスト

田中 光晴（文部科学省 総合教育政策局） 松尾 知明（法政大学 教授）

田中 邦典（埼玉県立総合教育センター） 横張 亜希子（埼玉県立吉川美南高等学校）

永田 佳之（聖心女子大学 教授） 湯本 浩之（元 宇都宮大学 教授）

青木 麻衣子（北海道大学 教授） 田中 義隆（株式会社 国際開発センター）

瀧本 寛、白水 始、松原 憲治、植田 みどり（国立教育政策研究所）

竹田 幸子、折田 朋美、湯浅 あゆ美、畔上 智洋（JICA）

シポジウム詳細：https://www.jica.go.jp/domestic/tokyo/information/event/1536336_23963.html

■独立行政法人国際協力機構（JICA）について

JICA は、開発途上国が直面する課題を解決するため、技術協力、有償資金協力、無償資金協力など日本の政府開発援助（ODA）を一元的に担う二国間援助の実施機関で、150 以上の国と地域で事業を展開しています。

国際社会の課題は日本とも密接に関係しています。国内外のパートナーと協力してそれらの解決に取り組み、世界の平和と繁栄、日本社会の更なる発展に貢献します。詳しくは<https://www.jica.go.jp/index.html> をご覧ください。

【QR】シポジウム詳細ページ



【QR】JICA ホームページ

